

事業所名

あるてあ・あーち

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日

7年

3月

1日

法人（事業所）理念		・信頼関係を基盤に、できること・わかるが増える場 ・保育（社会）と家庭をつなぐ場 ・一人ひとりの個性が尊重される場						
支援方針		・障がいの気づきの段階から継続的な支援を行い、将来の子どもの発達・成長の姿を見通しながら、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう、今、どのような支援が必要かという視点を持ち、子どもの自尊心や主体性を育てていきます。 ・子どもたちが「お友だちと遊ぶことが楽しい」「大人と関わるのが心地いい」と思えるように、心温まる支援を心掛けています。						
営業時間		9時	0分	15時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持、改善 ・生活のリズムや生活習慣の形成 ・基本的な生活スキルの獲得 トイレ、排泄（一人ひとりの排尿間隔を踏まえる）、着脱、洗い、うがい、食事、午睡						
	運動・感覚	・姿勢と運動、動作の向上（作業療法士による、個別指導・集団指導） ・姿勢と運動、動作の補助的手段の活用 ・保有する感覚の総合的な活用 サーキット（歩く・走る・跳ぶ・くぐる・引っ張る・押す・登るなど）、リズムあそび（音を聞いて曲に合わせて身体を動かすことを喜ぶ）、体操・ダンス（全身を使う・模倣） ・音楽療法士による、音楽あそび						
	認知・行動	・認知の発達と行動の習得 ・空間、時間、数等の概念形成の習得 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得五感の活用（製作・感触あそび・ゲーム）、動物・生活用具・食べ物などのカードを用いた物の名称の習得、危険なことと安全なことの理解						
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用 ・言語の受容及び表出 ・コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・コミュニケーション手段の選択と活用 絵本、物の名称と言葉の一致、行動と言葉の意味の一致（絵カード・言葉カード・数カードなど）、相手とのコミュニケーションづくり、身振り・手振り・言葉などで自分の思いを伝えられる環境作り ・言語聴覚士による、個別指導・助言						
	人間関係 社会性	・他者との関わり（人間関係）の形成 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加 家族ではない他者との関係づくり、支援者や友達のまねっこ遊び、ごっこ遊び、小集団でのゲーム、触れ合い遊び、事業所外でのお出掛け（散歩・公園・図書館・体育館・レストラン・お買い物・その他公共施設）、欲求を適切に満たし安定した環境の中で過ごす、自分からしてみようという気持ちを育てる						
家族支援		・家族からの相談に対する適切な助言や関わり方の支援（面談、保護者学習会、連絡帳） ・家庭の子育て環境の整備 ・関係者、関係機関との連携による支援（併用する保育園、幼稚園の見学など） ・14時から15時まで延長あり			移行支援		・就園や移行に向けて移行先との調整（支援内容、移行手順の共有） ・就学に向けての支援（就学相談、支援内容の共有・引継ぎ、発達検査の実施）	
地域支援・地域連携		・並行通園先への訪問、環境の整備に対する助言、理解と支援の方向性の共有 ・保育所等の子育て支援機関との連携 ・老人デイサービスとの交流			職員の質の向上		・事業所の提供する支援の質を確保するために、事業所内研修や外部研修への参加など取り組んでいる ・支援の中での気づきや変化を職員間で共有し、事例検討会などを実施	
主な行事等		・春の遠足、水遊び、夏祭り、運動会、敬老会、芋ほり、クリスマス会、修了式など ・食育活動 ・クラブ活動						